



MUSASHINO
SOCCER CLUB

むさしの フィロソフィ

サッカーを通じた子どもたちの成長と
チームの理念

アジェンダ

- チーム理念
- 育成理念
- チームフットボールコンセプト
- 保護者との連携



チーム理念

～むさしのの存在意義・目標とするところ～

サッカーで“笑顔”を。

子どもも大人も。

サッカーを通じてむさしのに関わるすべての人が

“**笑顔**”になれるチームへ。

チーム理念を実現する 3つの要素

- ・子どもたちの育成
- ・サッカーのコンセプト
- ・サポーターとの関係

主体性を
育む

サッカーで
笑顔を

考えて、
走る
サッカー

保護者も
共に楽しむ
チーム

育成理念～どんな子どもに育てていきたいか～

主体性をもって、自ら考え、行動できる選手に導く

「主体性」とは

自分の判断でやるべきことを決めて、
責任を持って行おうとする態度

○育成テーマ

・主体性を持つ思考の促進

大人が直接的な答えを提供せず、自ら考え、自分なりの答えを出すよう導く環境を設定する。

・双方向コミュニケーションを重視

大人からの一方的な指導ではなく、子どもからの言葉を引き出すことを大切にする。

・ポジティブな文化

積極的にミスができる土壌をつくる。

考え、チャレンジし、また考えるサイクルに向けて互いに支え合い、チャレンジしやすい空気を作る。



○コーチングスタンス

☆子どもが自ら考え・チャレンジする機会を奪う指示やティーチングを極力減らし、主体性を導く声掛けをベースとする。

例:「逆サイド空いてるからパスしろ！」等先回りして答えを教えてしまうのはNG。

「いまこうだったけど、何が見えてて、どうすればもっと良かった？」と問いかけるのは○。

★ただし、以下の状況に関してはその場・時点で、しっかりと指導を行う

①チームメイトや対戦相手はもちろん、サポーターや審判、

協力してくれる人に対し、**リスペクトを欠いた言動**を行った場合。

②「**チームのために**プレーし、行動すること」を頑張らない場合。

例: 自分がボールを獲られたのに、追いかけず獲り返しに行かない

チームフットボールコンセプト



MUSASHINO
SOCCER CLUB

Think and Run

～考えて、走る～

見る・考える・走る

- ・ **見る**: 状況を把握し、情報を取得する

相手は。味方は。ボールは。ゴールは。スペースは。どこにあって、どんな状態なのか、まず『見る』から始める。

- ・ **考える**: 常にサッカーする

把握した情報から、いかにゴールにつなげるか、どうゴールを守るのか。オン/オフザボール時、常にチャンスとピンチを見つけ、判断する。

- ・ **走る**: 全員攻撃・全員守備

他を圧倒する運動量をもって闘う。前線から守備をし、後方から味方を追い越しゴールを狙う。



保護者との連携～サポーターも楽しめてこそチーム～

運動機会

体育館アクト
ダンス・アップ

親子サッカー
初蹴り会

大人
夜サッカー

協力体制

運営スタッフ

Players
Assistant
制度

Live配信

保護者も運動する機会の提供

- ・ **保護者の運動機会**

体育館アクト、ダンスアップ、大人夜サッカー等
保護者に運動の機会を提供することで、全家族が
健康的な生活を楽しむことを促進します。

- ・ **子どもと大人の楽しみ**

上記含め、イベント等を通して子どもだけでなく、
大人も楽しむことができるチームを作ること
を目指します。

- ・ **健康的なライフスタイル**

運動を通じて家族全体のライフスタイル向上・
家族内のコミュニケーション活性にもつなげます。



Players Assistant（プレアシ制度）

- ・ **保護者の参加**

プレアシ制度では、保護者が積極的に子どもの育成・見守りに参加します。

- ・ **子どもの成長**

コーチだけでなく様々な大人と接することは、子どもたちの成長につながります。

- ・ **チーム力の向上**

コーチとは違った目線で子どもたちを見て、フィードバックすることでより多角的な指導ができます。

※プレアシは「子供と一緒にカラダを動かしたい！」という希望者のお父さん・お母さんが参加してくれています。



スタッフ制度

・保護者の参加

保護者との協力体制だからこそ見えてくるものを大事にし、時代に合わせて柔軟に動ける組織にします。

・チーム運営

保護者の目線をチーム運営に寄与できる体制を整えます。指導者サイドからだけではなく多角的に考えることが大切となります。

※スタッフは一切の強制はなく、「運営に協力したい」という希望者もしくは任意での参加となります。

